

大学院獣医生命科学研究科
令和7(2025)年度 第1次入学試験
獣医保健看護学専攻 博士後期課程

英 語
共 通 問 題

「出題意図」

獣医保健看護学専攻博士後期課程で必要な基礎的な英語能力を評価することを目的としてし、
英文和訳を出題する。

大学院獣医生命科学研究科
令和 7(2025)年度 第 1 次入学試験
獣医保健看護学専攻 博士後期課程

英 語
動 物 感 染 症 学

「出題意図」

動物ウイルス感染症の対策においてワクチンは有用なツールであり、獣医療においても多くの感染症に対してワクチンが利用されていることから、動物感染症学に係る問題としてワクチンを題材とすることとし、ワクチンに関する記載のある英文を選択した。また、世界的な共通認識及び知見を題材とすることが望ましいと考え、公的機関である国際獣疫事務局 (WOAH) の Terrestrial Manual に記載される牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) に係る「ワクチンの要件」を引用した。

BVDV 感染症の感染予防対策においても、世界的にもワクチンが活用されているが、BVDV の遺伝子型及び遺伝子型が示すように多様化が進んでいる BVDV に対して、ワクチンとウイルスの間の抗原的なマッチングが課題となっていることや、免疫寛容によって終生ウイルスを排出し続ける持続感染牛が存在していることが、ワクチン開発や使用法の障害になっている。これら背景が記載された英文を正確に訳し、ウイルスやその疾病の特徴に合わせてワクチンに求められるものがあることを読み取れているかを確認することを意図して出題した。